

## 6. 各展示の概要 (1) 導入展示 北緯43°の街

キーワード **札幌を学び楽しむヒント** 導入部として、博物館のガイダンスと札幌を学び楽しむヒントを提示します。

### 【導入展示のねらい】

- 札幌の自然、街や人の魅力を体感させ、興味を喚起します。
- テーマ展示の見出しとして、各テーマで扱う内容を垣間見ることができ、期待を高めます。
- 札幌についてよく知らない子どもや、観光客、修学旅行生も、一目で「札幌らしさ」や、札幌の魅力を理解できる展示とします。

### 【展開イメージ】

- 北緯43度に位置する世界の都市の中で、200万人都市を誇るのは札幌だけです。  
水資源に恵まれ南北の生き物が混在する生態系の多様さ、多くの人が住みたくなる札幌の魅力や特徴を、世界の都市との比較によって際立たせます。
- 札幌の四季折々の美しい風景、雪、街の魅力を、双方向性のある映像などで体感できます。
- 音や映像などを交えながら、たずんでいるだけで楽しく、子どもも遊びながら札幌の魅力に触れられる展開とします。

札幌の四季の美しい風景や、街の魅力を体感できる、没入性のある演出を展開します。

世界の中の札幌の位置や、同緯度の他都市と比較することにより、札幌の魅力と特徴を伝えます。

これから見学する各テーマ展示のガイダンスとなり、期待感を高める映像などを映し出します。

雪が降ったり、動物の足跡、花吹雪など、床面に映像を投射し、その動きを追いかけるだけでも楽しい演出を行います。

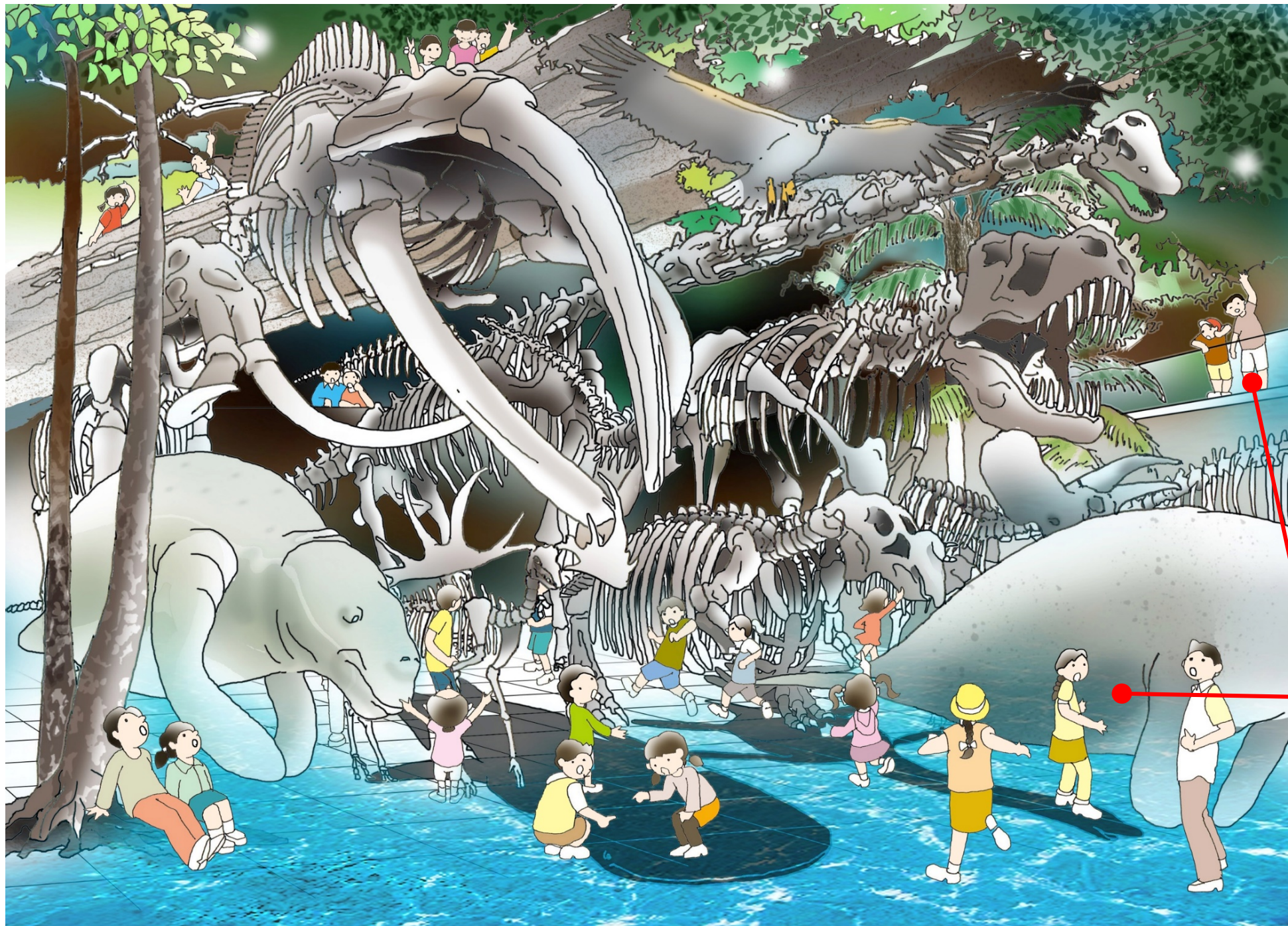




## キーワード 札幌の巨大化石

なぜ札幌から巨大生物が誕生したのか、北海道・札幌の成り立ちから生物巨大化の謎に迫ります。

「札幌の生命と進化」では世界に先駆けて巨大化し、世界へ広がった札幌の巨大生物、サッポロカイギュウと小金湯産クジラ化石の進化過程を骨格と生体でシンボル展示し、世界の陸や空で巨大化した生物をメイン展示とすることで、札幌ならではの、札幌にふさわしい、巨大化の謎に迫る世界に類を見ない自然史博物館を実現します。「巨大化」の背景には、世界的な気候変動やプレート運動\*などにより誕生した札幌独自の自然とその成り立ちがあることを「つながり展示」としてテーマⅡ「札幌の自然」へ展開します。



### メイン展示

#### 世界の巨大生物

～植物、昆虫、甲殻類、両生類など、さまざまな時代を代表する巨大化生物を展示する。～

### シンボル展示

#### 札幌の巨大生物

#### サッポロカイギュウ ・ 小金湯クジラ

～地球環境の変化による動植物群の南北移動に伴い、札幌では、サッポロカイギュウや小金湯クジラが現れるなどいち早く巨大化した。

札幌で巨大化した特徴ある生物をシンボル展示として取り上げる。～

標本は下から見上げたり、上層階から見たり、さまざまな角度から見学・観察ができます。



## キーワード 北と南が出会う街

なぜ札幌の自然は人々から愛されるのか、札幌独自の魅力的な自然についてその成り立ちからその謎に迫ります。

「札幌の自然」では、札幌が好きと答える9割以上の市民がその理由にあげる「明確な四季」と「緑豊か」な自然が、北緯43度という中緯度に位置することで生み出されたことを臨場感のある展示で展開します。「明確な四季」の景観を作り出す針葉樹林と広葉樹林の植生、緑豊かな大地からは季節ごとに恵みがもたらされ、人々が自然のリズムに沿って暮らしてきたことをシンボル展示とします。メイン展示は、南北に連なる日本列島とそれに連なる太平洋西端の弧状列島群を、過去から現在まで行き来した野生生物、人、モノなどの「自然の回廊」として捉え、札幌独自の自然・歴史・文化の形成について世界的視野で紹介します。さらに、札幌の四季を際立たせ生物の特徴ある生息分布に関係する「雪」や、大都市札幌のなりわいを支えた「豊平川」などを「つながり展示」とし、テーマⅢ「札幌の街と人」へ展開します。



### シンボル展示

石狩低地帯の植生

～札幌が生物の南北移動の交差点となったことを象徴し、札幌の生物や環境の多様性の背景にある冷温帯と温帯の植生をあわせもつ針葉樹と広葉樹が混生する森林を再現し、森の中にいるような臨場感ある展示をします。～

### トピック展示

札幌の昆虫

サッポロの名を持つ生き物

豊平川の生態系

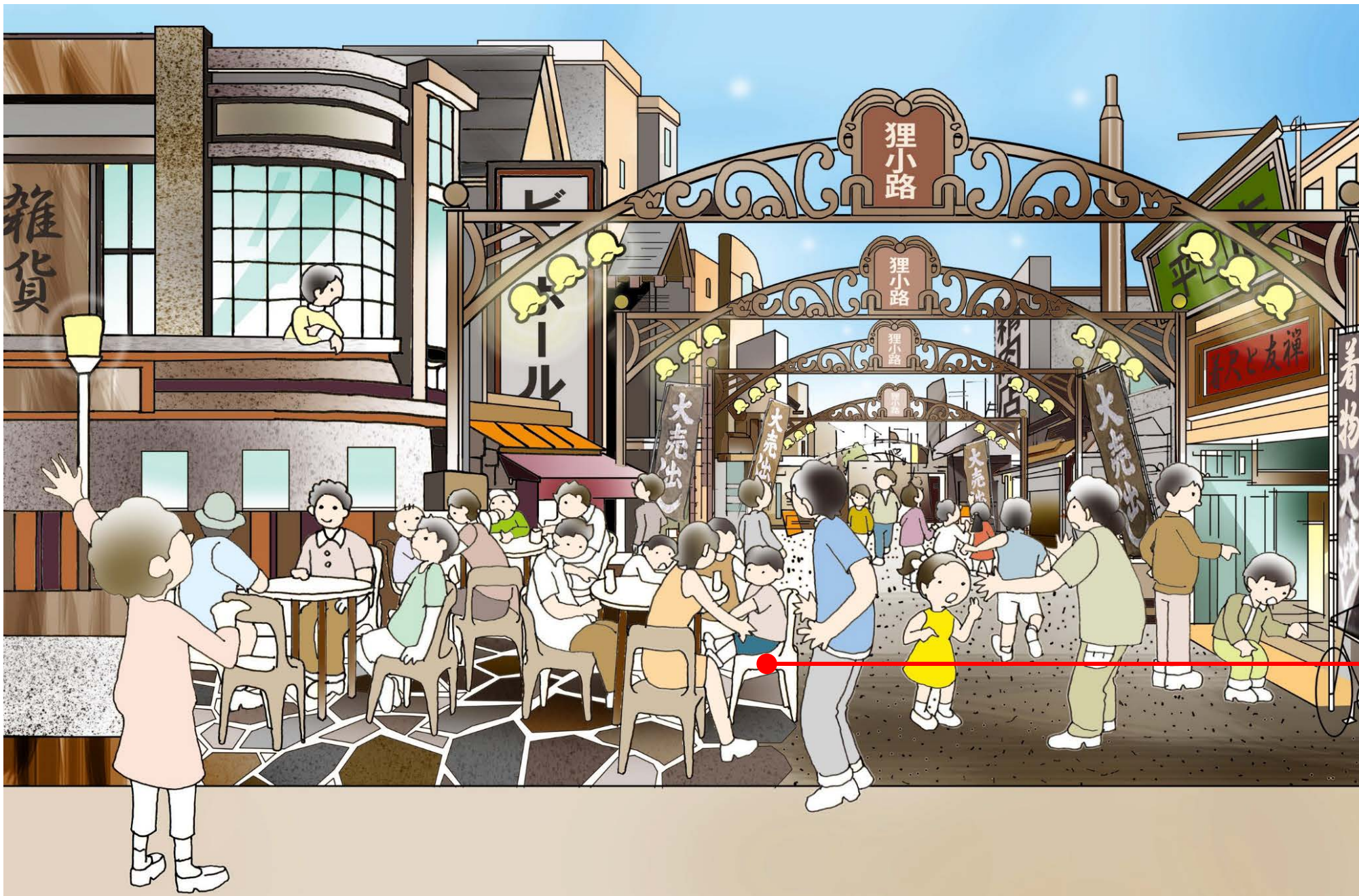
多雪地の生き物 など



# キーワード 150年で200万都市

## なぜ札幌は世界有数の降雪地帯にありながら短期間に大都市へと成長できたのか？ 自然と街と人を通して大都市札幌誕生の秘密とその謎に迫る

「札幌の街と人」では、なぜ原野同然の札幌を道都と定め、街づくりが始められたのかを食糧の確保、各種資源、生産性、流通、エネルギー確保、防衛などからその必然性を説明するとともに、わずか150年で今日の発展を成し遂げた札幌独自の街づくりの経緯についてメイン展示で展開します。さらに、札幌の賑わいの基点・狸小路の一部を実物大に復原\*展示、その一部をミュージアムショップやミュージアムカフェとして活用することで臨場感豊かな街並みを再現します。



### メイン展示

#### 札幌の開墾と市街地の形成

～札幌には本格的な開拓が始まった明治初期から現代までの記録が絵図や写真などで詳細に残されています。それらを用いて札幌の過去から現在、そして未来を感じることでできる札幌の街のなりたちを展示します。～

#### ミュージアムカフェ・ ミュージアムショップ

シンボル展示の一部は、無料ゾーンと交差し、ミュージアムカフェやミュージアムショップとして楽しめるスペースにします。